

じ ち たい こうきょうだんたい お し ごと 自治体・公共団体のお仕事

ふきのとうでの活動には様々なものがあります。ふきのとう便りの中でよく取り上げられているものは、イベントが多いのですが、普段の活動は工賃を得るためのお仕事をしています。

お仕事で一番多いのは大量の資材を指定された形に加工して納品する内職ですが、それ以外

にも除草作業や清掃作業といった仕事もあります。単発のお仕事が多いのですが、自治体や公共団体の発注するお仕事は通常1年間を通して行うことが出来、その間収入を安定的に確保出来るため、ふきのとうでは積極的に受注するように努めています。

な ら けんちょう し せつが いしゅうろう 奈良県庁施設外就労

奈良県庁内で3か月間(週三日)、各課のお仕事のお手伝いをさせていただくお仕事です。

作業内容は書類のシュレッダー作業や洗濯、書類をセットにしてホッチキス止めしたり、訂正シールを貼ったり封筒への封入や糊付け、パソコンのデータ入力作業など、様々な作業があります。

ならけん がついつか がつ よっか
奈良県 (4月5日~6月24日)



てんり ししょうがいしゃ 天理市障害者ふれあいセンター清掃業務



障害者なら無料で施設利用できる天理市障害者ふれあいセンターですが、その館内の清掃も週3回(火・木・金曜日)障害者施設で請け負っています。今年1年はふきのとうが担当し皆で広い館内を一生懸命きれいにしています。

てんり こうえんせいそう しょうききかんしゃ い じ かんりぎょうむ 天理ダム公園清掃・蒸気機関車維持管理業務

天理ダム風致公園等のゴミを集めてクリーンセンターに持ち込んだり、天理駅の西側、田井庄公園内に展示されている蒸気機関車を綺麗に維持管理するお仕事です。

屋外の作業ですので熱中症やけがに注意が必要です。



てんり し やく ねんかん
天理市 (約1年間)



あか くつ は おんな こ ども 赤い靴を履いた女の子は何処へ

童謡『赤い靴』の記念碑は日本各地にあります。もっとも有名なのは横浜市山下公園の少女像で、太平洋を眺めながら座っています。この少女は「異人」さんに連れられていった何処へ行ったのでしょうか。

昭和48年、岡そのと名乗る女性の「私が生れる10年も前に日本を去った姉、顔も姿も知りませんが、まぶたを閉じると、赤い靴をはいた4歳の女の子が青い目の異人さんに手を引かれて、横浜の港から船に乗る姿が目につかびます。この姉こそが、野口雨情が『赤い靴』に書いた女の子です。」という内容の投書が北海道新聞に載りました。その記事を読んだ菊池寛がその女性の「幻の姉」探しを始めました。6年もの歳月をかけて取材し、『赤い靴を履いていた女の子』というドキュメンタリー番組を作成し北海道テレビで放送しました。のちにノンフィクション小説としても発表しています。

その記述によると、「幻の姉」の名前はきみで明治38年静岡県清水市で母-岩崎かよ、父-佐野安吉の子供として出生しました。安吉は天竺安の二つ名を持つやくざ者でした。両親の死去を契機にかよは安吉と別れ2歳のきみを抱いて北海道に渡り、札幌で鈴木志郎と出会い結婚しました。二人は、社会主義運動の一環として当時注目されていた「平民農場」へ入植することになりましたが、原野を切り開く過酷な開拓生活に幼い子供連れでは到底無理だと判断し、子供のいなかったア

しゃかいふくしほうじん
社会福祉法人ふきのとう 理事 古泉 健二

メリカ人宣教師のヒュエット夫妻に娘のきみの養育を託しました。その後、平民農場は経営に行き詰まり、鈴木夫妻は札幌に戻り、志郎は『北鳴新報社』という小さな新聞社に就



職しました。そこでは石川啄木や野口雨情も働いていて、鈴木夫妻と親交を深めました。かよから娘のきよの話聞き、啄木は、詩集『悲しき玩具』の中で、「名は何と言いけむ、姓は鈴木なりき、今はどうして何処にいるらむ」と歌っています。またこの時雨情が作った一編の詩から十数年を経て童謡『赤い靴』が生まれたのです。

しかし、きみは渡米していませんでした。ヒュエット夫妻が帰国命令を受けてアメリカに帰ることになった時、不幸にもきみは結核性腹膜炎に冒されていました。身体が衰弱していて長い船旅ができず、やむなく東京の鳥居坂教会併設の孤児院に預けられました。数年間の闘病生活の末、きみは9歳で息を引き取りました。鳥居坂教会の墓地には「佐野きみ」と書かれた墓碑銘が残っています。野口雨情はもちろん母親のかよも、きみはヒュエット夫妻とアメリカに渡って幸せに暮らしていると思いつけていたのです。晩年かよは「野口雨情がお前のことを歌にしてくれたよ」とつぶやきながら、『赤い靴』を何度も口ずさんでいたそうです。

一九八四年八月二〇日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六の日)発行

編集人 社会福祉法人ふきのとう ふきのとう便り編集委員会
連絡先 〒632-0052 奈良県天理市柳本町 2036 番地 1 TEL 0743-67-1099 FAX 0743-84-7738
HP <http://www.fukinotou.or.jp/>
E-Mail fukinotou1099@fukinotou.or.jp
発行人 関西障害者定期刊行物協会
〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4F 定価：10 円

ふきのとうの動き

令和6年
 3月20日 奈良きょうされん製菓交流会
 3月27日 天理ダム風致公園清掃 (5月15日)
 4月3日 お花見
 5日 県庁施設外就労開始

18日 壁面づくり (5月~8月分)
 5月2日 天理市障害者ふれあいセンター 清掃業務開始
 31日 ふきのとう祭り
 6月7日 天理市田井庄公園 機関車整備業務委託開始

きょうされん奈良支部 パン・製菓交流会

今年(ことし)は雨(あめ)となった春(しゅん)分(ぶん)の日(ひ)、きょうされんの奈良支部(ならしぶ)による、県内(けんない)でお菓子(かし)やパン(ぱん)の製造(せいぞう)をしている事業所(じぎょうしょ)の交流会(こうりゅうかい)が開催(かいさい)されました。交流会(こうりゅうかい)では各事業所(かくじぎょうしょ)が発表(はっぴょう)を行い、ふきのとうもお菓子作り(かしづく)で頑張(がんば)っていること(こと)や工夫(くふう)していること(こと)を発表(はっぴょう)して、たくさん(たくさん)の拍手(はっくしゅ)や、「良かったよ(よ)」という声(こゑ)を頂(いただ)きました。

令和6年(れいわねん)3月(がつ)20日(にち) メンバー(メンバー)の感想(かんそう)は「みんなのお話(おはなし)が聞(き)けてよかった(よかった)」「あかつき(あかつき)の仲間(仲間)と一緒に(いっしょ)お話(おはなし)しながら(ながら)お菓子(かし)を買(か)って楽(たの)しかった(かった)」「持(も)っていったお菓子(かし)が売(う)れてうれしかった(かった)」と、次々(つぎつぎ)に答(こた)えてくれ、大(おお)いに楽(たの)しんでいた(いた)ようです。



お花見

4月(がつ)3日(にち)(水(すい))、ふきのとう(ふきのとう)ではお花見(はなみ)を企画(きかく)していましたが、当日(とうじつ)はあいにく(あにく)の雨(あめ)で、お出(で)かけ会(かい)のような形(かたち)になりました。11時(じ)ごろに、スタッフ(スタッフ)手作り(てづく)のお弁当(べんとう)を食(た)べて、各(かく)班(はん)に分(わか)か



令和6年(れいわねん)4月(がつ)3日(にち) れてふきのとう(ふきのとう)を出(しゅっぱつ)発(はつ)して、道(みち)の駅(えき)や店(みせ)など(など)を巡(めぐ)り、おでかけ(おでかけ)、買(か)い物(もの)を楽(たの)しみまし(まし)た。



壁面づくり

今回は(こんかい)班(はん)ごと(ごと)に分(わか)れて5月(がつ)~8月(がつ)の壁面(かべめん)を作(つく)りました。各(かく)班(はん)、本(ほん)やネッ(ねっ)ト(と)で調(しら)べていろ(いろ)ろな材(ざい)料(りょう)を使(つか)った個(こ)性(せい)のある壁面(かべめん)が上(あ)がりまし(まし)た。今(いま)迄(まで)壁面(かべめん)は、見(み)て可(かわ)い(い)な、上(う)手(た)だ



令和6年(れいわねん)5月(がつ)18日(にち) など(など)思(おも)ってき(き)まし(まし)たが、自(じ)分(ぶん)た(た)ち(ち)で考(かん)えてメ(メ)ンバ(ンバ)ー(ー)さん(さん)と作(つく)り上(あ)げ(げ)る(る)の(の)は結(けっ)構(こう)難(なん)し(し)か(か)った(た)です(す)。でも(でも)み(み)ん(ん)な(な)で完(かん)成(せい)さ(さ)せ(せ)た(た)時(とき)は(は)、と(と)て(て)も(も)う(う)れ(れ)しく(く)てみ(み)ん(ん)な(な)笑(わら)顔(がほ)で(で)した(た)。



ふきのとう祭り

サントアースII(サントアースII)の皆(みな)さん(さん)も参(ま)加(か)し(し)て(て)ふ(ふ)きの(の)とう(とう)祭(まつ)り(り)が催(もよほ)さ(さ)れ(れ)ま(ま)し(し)た(た)。

お昼(ひる)ご飯(はん)は(は)、フ(フ)ラ(ラ)イ(イ)ド(ド)ポ(ポ)テ(テ)ト(ト)・フ(フ)ラ(ラ)ン(ン)ク(ク)フ(フ)ル(ル)ト(ト)・唐(から)揚(あ)げ(げ)に(に)カ(カ)レ(レ)ー(ー)ラ(ラ)イ(イ)ス(ス)。皆(みな)さん(さん)、大(だい)好(こう)き(き)な(な)メ(メ)ニ(ニ)ュー(ュー)ば(ば)か(か)り(り)で(で)、と(と)て(て)も(も)嬉(うれ)し(し)そ(そ)う(う)に(に)召(め)し(し)上(あ)が(が)り(り)ま(ま)し(し)た(た)。

お昼(ひる)ご飯(はん)の(の)後(あと)は(は)、お(お)ま(ま)ち(ち)か(か)ね(ね)の(の)ゲ(ゲ)ー(ー)ム(ム)タ(タ)イ(イ)ム(ム)！千(せん)本(ほん)引(ひ)き(き)(紐(ひも)の(の)先(さき)に(に)は(は)景(けい)品(ひん)が(が)！)、ペ(ペ)ッ(ッ)ト(ト)ポ(ポ)ー(ー)リ(リ)ン(ン)グ(グ)・ク(ク)イ(イ)ク(ク)ル(ル)ホ(ホ)ッ(ッ)ケ(ケ)ー(ー)・グ(グ)ル(ル)グ(グ)



千本引き ぐるぐるキャップ クイックルホッケー ペットボトルポウリング



☆ふきのとうきゅうしょく日記

ふきのとう(ふきのとう)では(は)い(い)つ(つ)も(も)お(お)い(い)し(し)い(い)給(きゅう)食(しょく)を(を)調(ちょう)理(り)員(いん)さん(さん)が(が)作(つく)っ(っ)て(て)く(く)れ(れ)て(て)い(い)ま(ま)す(す)。



この(この)日(ひ)は(は)ふ(ふ)きの(の)と(と)う(う)の(の)畑(はたけ)で(で)育(そだ)て(た)『(『)そ(そ)ら(ら)豆(まめ)』(』)を(を)使(つか)っ(っ)た(た)豆(まめ)ご(ご)は(は)ん(ん)イ(い)ろ(ろ)ど(ど)り(り)彩(さい)も(も)こ(こ)の(の)季(き)節(せつ)な(なら)ら(ら)で(で)は(は)の(の)お(お)い(い)し(し)い(い)メ(メ)ニ(ニ)ュー(ュー)で(で)した(た)。

★ありがとうございました

約(やく)20年(ねん)間(かん)ふ(ふ)きの(の)と(と)う(う)で(で)お(お)い(い)し(し)い(い)給(きゅう)食(しょく)を(を)作(つく)っ(っ)て(て)下(くだ)さ(さ)っ(っ)た(た)、調(ちょう)理(り)員(いん)の(の)奥(おく)居(い)礼(れ)子(こ)さん(さん)が(が)退(たい)職(しょく)さ(さ)れ(れ)ま(ま)し(し)た(た)。

半年(はんねん)に(に)一(いち)度(ど)の(の)「(「)い(い)ろ(ろ)い(い)ろ(ろ)メ(メ)ニ(ニ)ュー(ュー)」(」)も(も)お(お)い(い)し(し)か(か)った(た)で(で)す(す)。長(なが)い(い)間(かん)ご(ご)苦(く)勞(らう)様(さま)で(で)した(た)。あ(あ)り(り)が(が)と(と)う(う)ご(ご)ざ(ざ)い(い)ま(ま)し(し)た(た)。

